



茂木 大輔 (企画・指揮・おはなし)

ミュンヘン国立音楽大学大学院修了(オーボエ専攻)。パンベルク交響楽団、バイエルン放送交響楽団などで首席オーボエ奏者に客演するほか、ヘルムート・リリングのもとバッハ演奏を集中的に学び、録音、世界各地への演奏旅行などに参加。1986年からシュトゥットガルト・フィルハーモニー管弦楽団の第1オーボエ奏者を経て、90年からNHK交響楽団首席オーボエ奏者。ソロ、協奏曲音楽祭への出演など多方面で活躍するほか、独自の企画による多数のCDをリリースして注目を集める。96年から指揮活動に入り、オーケストラの楽器や、バッハの教会音楽、ベートーヴェンのシンフォニーなどの解説コンサートで全国的に活躍。現在までに仙台フィル、山形交響楽団、アンサンブル金沢、東京フィル、名古屋フィル、兵庫PAC、広島交響楽団、九州交響楽団など多数の団体を指揮している。

山下洋輔・筒井康隆をはじめジャズ、文学とのコラボレーション、作曲、即興、「N響アワー」「ららら・クラシック」「DJクラシック」「たけしの誰でもピカソ」「NMBとまなぶくん」などテレビ・ラジオへの出演、NHKカルチャーを始めとするレクチャー、音楽史研究、楽譜研究など活動は硬軟含めて極めて多岐に渡っている。二ノ宮知子「のだめカンタービレ」原作に取材協力、ドラマ、アニメ、映画では「クラシック監修」と俳優の演奏演技指導などを担当した。自ら企画・指揮する「生で聴くのためカンタービレの音楽会」を全国展開。一流オーケストラとソリストを起用して本格的演奏で高い評価を得ている。2009年より、4年間にわたって東京音楽大学および大学院にて指揮実技、音楽理論、スコアリーディングなどを学び、13年優秀な成績をもって大学院を卒業。指揮を故・岩城宏之、および外山雄三、広上淳一、田代俊文、三河正典の各氏に師事。執筆でも知られ、「オーケストラ楽器別人間学(新潮文庫)」など多数の著書がある。



OBSESSION  
三船 優子(ピアノ) ※8/4公演のみ

幼少時代をニューヨークで過ごす。ジェローム・ローエンタール、井口秋子、奥村洋子、安川加寿子、マーティン・キャニンに師事。桐朋学園大学在学中、第57回日本音楽コンクール第1位。同大学首席卒業後、文化庁派遣研修員としてジュリアード音楽院に留学。1991年にロス・アンゼルスにおいてアメリカデビュー。同年フリーナ・アワーバック国際ピアノコンクール、ジュリアードソリストオーディションで優勝。帰国後は、リサイタルはもとより国内外の主要オーケストラとも共演。「リスト作品集」「ラプソディ・イン・ブルー」「バーバー・ピアノ作品集」などCDも多数リリース。NHK-BS2「週刊ブックレビュー」の司会を務めるなど多方面で活躍、マスタークラスやアウトリーチの教育活動にも力を入れている。古典から現代音楽まで幅広いレパートリーをもち、華のあるダイナミックな演奏で聴衆を魅了しつづける、日本を代表するピアニストのひとりである。京都市立芸術大学非常勤講師。HP: <http://yukomifune.com>



OBSESSION  
堀越 彰(ドラム) ※8/4公演のみ

海老沢一博、村上“ボンタ”秀一に師事。1990年、「山下洋輔ニュートリオ」でデビュー。国内をはじめ、ヨーロッパや南米でのツアー、ベルギーの野外コンサート、日本全国縦断8ヶ所サバイバルツアー等に参加。94年から10年におよび「山下洋輔デュオプラス」として活動。日舞家の父の影響から邦楽、民俗音楽とのセッションなど、幅広いジャンルで活躍し伊藤多喜雄、チェン・ミン等とも共演。イベント構成・演出も手がけ、楽曲提供も行なう。「The WILL」「東方異聞」「SOLO-ist」などを主催した後、2012年、尺八奏者小演明人と「LOTUS POSITION」結成。15年、山下洋輔も加わり、国際交流基金主催でチェコ・スロヴァキア四都市ツアーを成功させ、アルバム「LOTUS POSITION with 山下洋輔」リリース。デヴィッド・ルヴォー演出舞台「ETERNAL CHIKAMATSU」「黒蜷蚣」に音楽メンバーとして連続参加。シルク・ドゥ・ソレイユで活躍したパフォーマー、フィリップ・エマルールらと組む「INSTINCT」でも活動中。都内に2カ所のドラムスクールのほか、日本工学院でもクラスをもつ。HP: <http://akirahorikoshi.com>



長富 彩(ピアノ) ※8/5公演のみ

東京音楽大学付属高校(特待生)、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。卒業後、米国イリノイ州にて開催したリサイタルが大きな反響を呼び、米国での演奏活動を開始。これまでに日本コロムビアより「イスラメイ〜100年の時を経て甦る、ピアノの黄金時代」「リスト巡礼」をリリース。ホロヴィッツが恋したと言われる銘器[スタインウェイCD75]をレコーディングに使用した3枚目のアルバム「レゾナンス〜ホロヴィッツ・トリビュート」(日本コロムビア)、2016年12月にリリースしたオール・ベートーヴェンのCD「Aya Nagatomi plays Beethoven」(テレビマンユニオン)がそれぞれレコード芸術誌において特選盤に選出された。最新盤は小品集「Scenes-12の情景-」。現在、日本各地でのリサイタルに加えオーケストラとの共演、室内楽などの分野において精力的に活動。近年は作曲家の生涯を題材にした講座形式のコンサートを行うほかラジオのパーソナリティも務めるなど、演奏活動と並行してクラシックをより多くの人に届けるための活動も行っている。HP: <http://www.ayanagatomi.com/> Facebook: <https://www.facebook.com/PF.AyaNagatomi>



兵庫芸術文化センター管弦楽団(管弦楽)

2005年9月設立。世界中でオーディションを行い各地から若手演奏家を集め、優秀な人材を輩出するアカデミーの要素も持つ世界でも類を見ない新しいシステムのオーケストラ。芸術監督は佐渡裕が務める。年9回の定期演奏会をはじめ、様々なコンサート、室内楽シリーズ、兵庫県下の中学1年生を対象とした芸術鑑賞プログラム、毎夏恒例の佐渡裕プロデュースオペラの演奏等、多彩な活動を展開。06年関西西元文化園賞ニューパワー賞、11年神戸新聞平和賞、17年ミュージック・ベンクラブ賞受賞。通称PAC(バック)オーケストラ。

2018年 8月4日(土)・5日(日) 各日15:00開演 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール

S席 ¥6,800 / A席 ¥5,800 / B席 ¥4,800 / S席2公演セット券 ¥13,000 (全席指定・税込) ※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※S席2公演セット券は2日間同じお席でご覧いただけます。 <お問合せ>リパティ・コンサーツ 06-7732-8771 (10:00~18:00) ・<http://www.kyodo-osaka.co.jp>

芸術文化センター 0798-68-0255 (10:00~17:00 ※月曜休・祝日の場合は翌日休) <http://www.gcenter-hyogo.jp>

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:109-026] <http://t.pia.jp/kansai/kyodo-osaka> ぴあ各店舗

ローソンチケット 0570-08-4005 [Lコード:55798] / 0570-00-0407 <http://l-tike.com/> ローソン、ミニストップ各店舗

CNプレイガイド 0570-08-9999・<http://cncn.jp/k-o/>

e+(イープラス) <http://eplus.jp/> 楽天チケット <http://r-t.jp/mogi>

チケット発売日 4月21日(土) 10:00~

アクセス

●阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)  
●JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)  
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

※S席2公演セット券はCNプレイガイド、楽天チケットでの取扱いはございません。 ●主催: 8オンテレ/兵庫県/兵庫県立芸術文化センター/キョードー ●企画: 茂木大輔/公益財団法人かすがい市民文化財団 ●制作: M music Labo. ●0670-68-0255は一部携帯電話及びPHS、IP電話、ダイヤル番号からはご利用いただけませんので、ご了承下さい。 ●営業目的の転売禁止。 KYODO



生で聴く  
のだめカンタービレ  
Nodame Cantabile  
の音楽会

企画・指揮・おはなし 茂木 大輔  
〔「のだめカンタービレ」ドラマ・アニメのクラシック監修〕

管弦楽 兵庫芸術文化センター管弦楽団

ソリスト 4日 OBSESSION  
【三船 優子(ピアノ)、堀越 彰(ドラム)】  
5日 長富 彩(ピアノ)

4日(土) ブラームス:ハイドンの主題による変奏曲  
ガーシュイン:ラプソディ・イン・ブルー  
ブラームス:交響曲 第1番

5日(日) モーツァルト:歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲  
ショパン:ピアノ協奏曲 第1番  
ブラームス:交響曲 第4番

2018年 8/4(土)・5(日) 各日15:00開演(14:15開場)  
兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール  
S席 ¥6,800 / A席 ¥5,800 / B席 ¥4,800 / S席2公演セット券 ¥13,000 [全席指定・税込]  
※未就学児のご入場はご遠慮ください。 ※S席2公演セット券は2日間同じお席でご覧いただけます。  
主催: 8オンテレ/兵庫県/兵庫県立芸術文化センター/キョードー 企画: 茂木大輔/公益財団法人かすがい市民文化財団 制作: M music Labo.  
<お問合せ>リパティ・コンサーツ 06-7732-8771 (10:00~18:00) ・<http://www.kyodo-osaka.co.jp>

# ブラームスの夏

今年、ブラームスの交響曲を2曲、聴いて頂こうと思います。

ブラームスはドイツ北方のハンブルクに生まれた作曲家で、暖かなイタリアに近いヨーロッパ南方のウィーンを拠点に活躍していたモーツァルト、ハイドン、ベートーヴェン、シューベルトなどに比べ、重厚で憂鬱をたたえた曲想や、霧のかかったような独特のサウンドを持っています。ドイツ人らしい、じっくりと構想を練って手堅い技術で書き上げられた作品はいずれも深みと真実味をたたえ、幾度聴いても飽きる事の無い魅力を持っています。生涯オペラを書くことはなく、代表作は4曲残した交響曲とピアノ(2曲)、ヴァイオリンなどの協奏曲、ピアノ曲、室内楽曲など、およそ派手さや軽薄さと縁のない渋いジャンルばかりです。ブラームスの音楽から我々が感じるちょっと気難しいオジサンのような取っ付きにくさ、しかしその背後にある温かいリアリズムは、虚飾を一番嫌ったブラームスの残してくれた人類の至宝と言えるでしょう。

初日は、「のだめカンタービレ」では定番中の定番、「交響曲 第1番 ハ短調」。千秋がヴァイオリンの清良や峰、オーボエの黒木など若い音大生たちを集めて結成した、「R☆S(ライジング・スター)オーケストラ」の旗揚げ公演で指揮しました。千秋が初めて学外で指揮した演奏会のメインとなった曲で、プロの指揮者として世の中に出て行く記念となった曲とも言えるでしょう。テレビドラマでも玉木宏さんの指揮の演技が素晴らしかった記憶がありますね。曲想も、若者の出発にふさわしいロマンティックでパワフルな音楽となっています。

この「ブラ1」と組み合わせる曲として、のだめに登場する同じブラームスの名曲でありながら今まで一度も演奏する機会がなかった「ハイドンの主題による変奏曲」(千秋はパリで「マルレ・オーケストラ」でこの曲を指揮しました。)と、ガーシュインの「ラプソディ・イン・ブルー」を取り上げます。そもそも、桃ヶ丘音大の学園祭で、紋付の着物を着てピアノを吹くという「和風ビッグバンド」のイベントで登場したこの曲で、今回ソリストとして、いまのクラシック音楽界で大きな注目を集めているユニットOBSESSIONをご紹介できることをとても誇りに思っています。このOBSESSIONとはクラシックの超有名ピアニストである三船優子さんと、山下洋

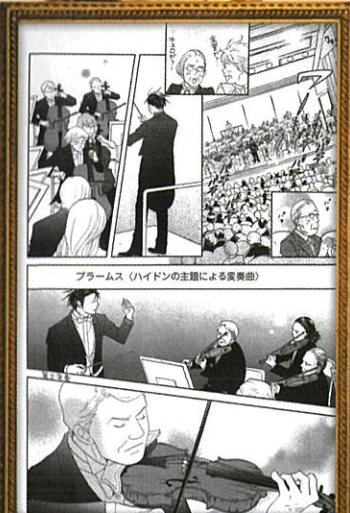
輔トリオでのジャズや多彩なジャンルで独立した個性を確立しているドラマー、堀越彰さんが結成したユニットです。すべてが精密にアレンジされ、リハーサルされ、信じられないアンサンブルを繰り広げるお二人は、この「ラプソディ・イン・ブルー」をはじめクラシックの名曲を全く新しい芸術としてクリエイティブに生まれ変わらせているのです。詳しくは演奏をお聴き頂くしかありませんが、クラシックに安易にドラムを加えただけ、というレベルの話ではなく、皆様も僕同様に驚嘆されることを保証いたします。是非ご一聴下さい。

2日目には、「交響曲 第4番 ホ短調」を演奏します。これは「のだめカンタービレ」の原作の最後にミルヒーがロンドンで指揮した演奏会のメイン曲です。ブラームスはこの曲で、同時代に流行していたワーグナーなど前衛的な音楽と距離を置いて、バッハやそれ以前の、古色蒼然とした音楽の作り方を交響曲に持ち込みました。曲のフィナーレも勝利的というよりは宗教的、懐古瞑想的で、老いを感じたミルヒーが、もしかしたら自分の最後かもしれないと思って選んだ曲にふさわしいのではないのでしょうか。こうして奇しくも「のだめカンタービレ」の物語の出発点と最終場面に、同じブラームスの交

響曲、しかもその最初と最後のものが描かれていることは、我々音楽家にとって特別な意味を感じますので、今年、この2曲を連続して聴いて頂けることを嬉しく思います。

なお、間に書かれた交響曲 第2番、第3番については少し実演解説もお届けしますのでお楽しみに。原作での、このコンサートの協奏曲はショパンの「ピアノ協奏曲 第1番」(ソリスト:のだめ)、序曲は「ドン・ジョヴァンニ」でした。今回はこのプログラムは原作そのままに演奏したいと思います。ショパンのピアニストとして、のだめコンサート初登場の、いま人気実力ともに最高の長富彩さんをお迎えします。こちら若くフレッシュな「のだめ」のようなショパンを皆さんとともに楽しみにしたいと思います。是非2日とも(笑)お聴きになってください。

茂木大輔



ブラームス「ハイドンの主題による変奏曲」



ガーシュイン「ラプソディ・イン・ブルー」



ブラームス「交響曲 第1番」

生演奏に合わせてリアルタイムで曲目解説が映し出されます!



今年も本格的な演奏と大型スクリーンが見事に融合した圧巻のステージをお届けします。「のだめカンタービレ」に登場した名曲の数々を美しいイラストやわかりやすい解説とともにじっくり堪能してください!!

## 学園祭伝説のステージ、千秋のブラームス!

4日(土)

華々しい指揮者デビューを果たした「ブラ1」と、その後マルレ・オケの定期公演で指揮した「ハイドンの主題による変奏曲」、2つのブラームスの名作で指揮者千秋の歴史をたどります!そしてジャンルを超越した豪華ユニット「OBSESSION」が「のだめ音楽会」初参戦!桃ヶ丘音大の学園祭で伝説となったあの曲で新たな伝説が!?期待が高まります!

ブラームス **ハイドンの主題による変奏曲 作品56a** *Bach's:Visions on a Theme by Haydn*

ガーシュイン **ラプソディ・イン・ブルー** *Gershwin:Rhapsody in Blue*

ソリスト:OBSESSION[三船 優子(ピアノ)、堀越 彰(ドラム)]

ブラームス **交響曲 第1番 ハ短調 作品68** *Brahms:Symphony No.1 in C minor, op.68*

## 5日(日) のだめ世界デビュー 公演プログラムを再現!

シュトレイゼマンの人生と重なるかのような「ドン・ジョヴァンニ」の序曲で幕を開け、ショパンが「楽しい無数の追憶」とも記した美しい**ピアノ協奏曲第1番**をこれまた初登場の超実力派ピアニスト長富彩さんのソロで!そして後半はブラームスが「自作で一番好きな曲」とも語った最後のシンフォニーをじっくりと。

晩年に差し掛かったブラームスがこの曲に込めた思いとは…大好評!楽しくてわかりやすい解説コーナーもご期待ください!!

モーツァルト **歌劇「ドン・ジョヴァンニ」K.527序曲**

*Mozart:Overture to the opera of «Don Giovanni»*

ショパン **ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 作品11**

*Chopin:Piano Concerto No.1 in E minor, op.11*

ソリスト:長富 彩(ピアノ)

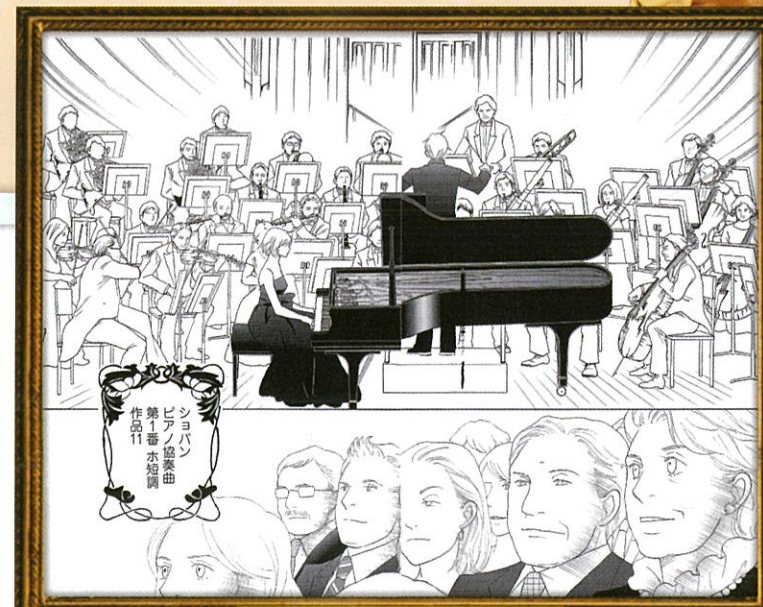
ブラームス **交響曲 第4番 ホ短調 作品98**

*Brahms:Symphony No.4 in C minor, op.98*

### 解説コーナー 「教えて茂木さん!!」

交響曲第1番と第4番の間に書かれ、これまで名曲の誉れ高い第2番と第3番の「名所旧跡」を駆け足でたどります。ツアーガイドは茂木さんとオーケストラ。たった2日であなともすっかりブラームスマニアに!?

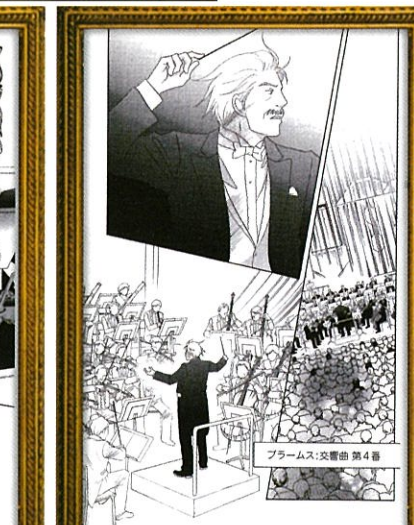
※都合により演奏者、演奏曲目が変更になる場合がございます。ご了承下さい。 ©二ノ宮知子/講談社



ショパン「ピアノ協奏曲 第1番」



モーツァルト「歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲」



ブラームス「交響曲 第4番」